

令和2年度 東部地区幼保小連携・接続推進研修会
【オンデマンド研修】

鳥取県東部地区の 幼保小連携・接続について

令和3年3月

鳥取県教育委員会 東部教育局

東部地区の園・小学校等について

年齢

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

地域型保
育事業所
11園

幼

義務教育学校 1校

義務教育学校 3校

保育所 52園
保育所型認定こども園 2園
児童発達支援センター 1園

幼保連携型認定こども園 6園

幼稚園 8園
幼稚園型認定こども園 3園

届出保育施設 18園

特別支援学校
幼稚部 1校

小学校 49校

特別支援学校 5校

令和2年4月現在

1. 幼保小接続の考え方・方向性

- 小学校学習指導要領総則 第2 4「学校段階等間の接続」
- 幼稚園教育要領総則 第3 5「小学校教育との接続に当たっての留意事項」
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」
- 円滑な連携・接続のためのポイント「3つのつなぐ」

資質・能力の三つの柱に沿った、幼児教育において育みたい 資質・能力の整理イメージ

以上
小学校

知識や技能
(何を理解しているか、
何ができるか)

**思考力・判断力・表現力
等**
(理解していること・できることを
どう使うか)

学びに向かう力、人間性等
情意、態度等に関わるもの
(どのように社会・世界と関わり
よりよい人生を送るか)

※下に示す資質・能力は例示であり、遊びを通しての総合的な指導を通じて育成される。

へ環境を通して行う教育へ

幼児教育

知識や技能の基礎

(遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、
何に気付いたり、何が分かったり、何ができるようになるのか)

- ・ 基本的な生活習慣や生活に必要な技能の獲得
身体感覚の育成
- ・ 規則性、法則性、関連性等の発見
- ・ 様々な気付き、発見の喜び
- ・ 日常生活に必要な言葉の理解
- ・ 多様な動きや芸術表現のための基礎的な技能の獲得
等

思考力・判断力・表現力等の基礎

(遊びや生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなども使い
ながら、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか)

- ・ 試行錯誤、工夫
- ・ 予想、予測、比較、分類、確認
- ・ 他の幼児の考えなどに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさ
- ・ 言葉による表現、伝え合い
- ・ 振り返り、次への見通し
- ・ 自分なりの表現
- ・ 表現する喜び等

遊びを通しての 総合的な指導

- ・ 思いやり ・ 安定した情緒 ・ 自信
- ・ 相手の気持ちの受容 ・ 好奇心、探究心
- ・ 葛藤、自分への向き合い、折り合い
- ・ 話し合い、目的の共有、協力
- ・ 色・形・音等の美しさや面白さに対する感覚
- ・ 自然現象や社会現象への関心
等

学びに向かう力、人間性等

(心情、意欲、態度が育つ中で、いかによりよい生活を営むか)

・ 三つの円の中で例示される
資質・能力は、五つの領域の
「ねらい及び内容」及び「幼児
期の終わりまでに育ってほし
い姿」から、主なものを取り出
したもの

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことができるようにすること。

また、低学年における教育全体において、例えば生活科において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。

1. 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導
2. 生活科を中心としたスタートカリキュラムの編成

幼稚園教育要領

第1章 総則 第3 教育課程の役割と編成等

5 小学校教育との接続に当たっての留意事項

- (1) 幼稚園においては、幼稚園教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにするものとする。
- (2) 幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

○育成を目指す資質・能力について幼児期の教育から高等学校教育までを通じて系統的に示されている

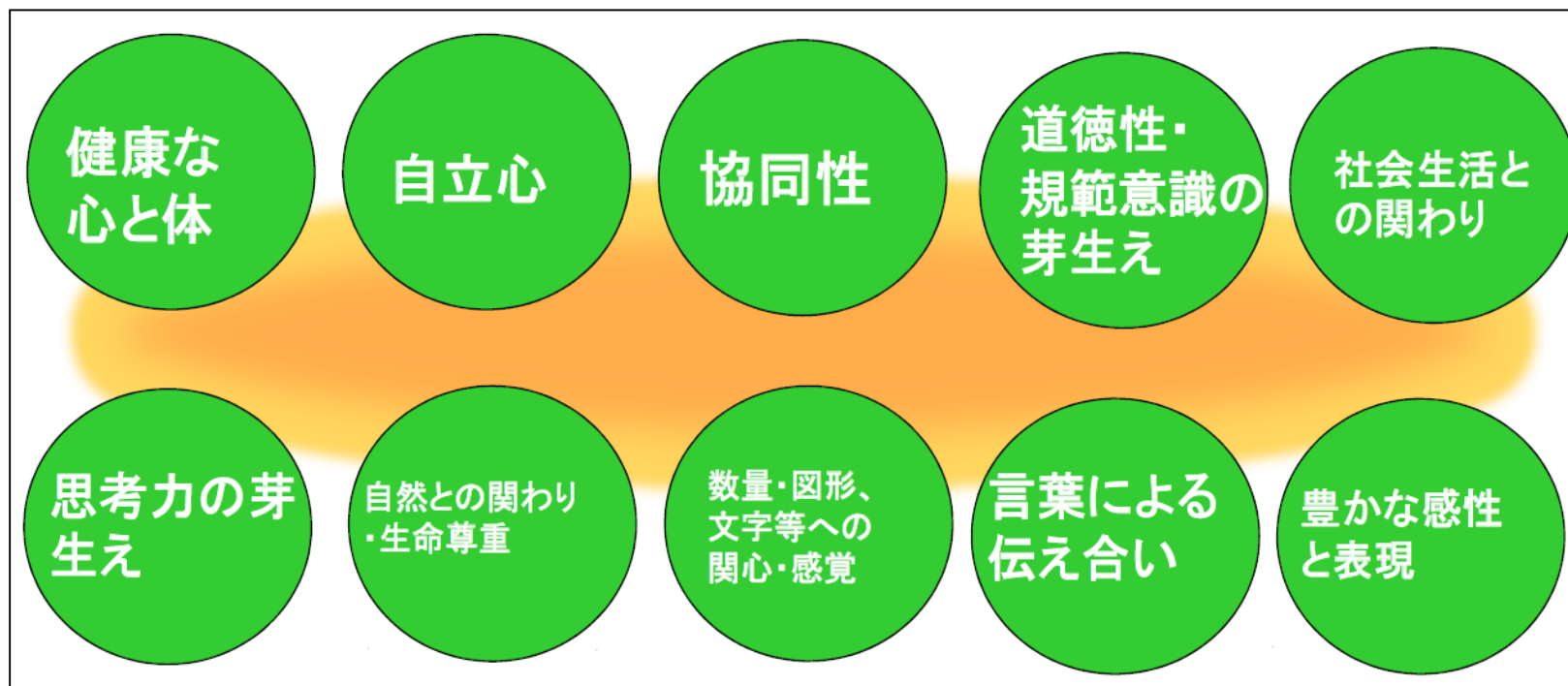
○幼稚園教育において育まれてきた資質・能力は、小学校以降の生活や学習の基盤

○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、資質・能力が育まれている幼児の幼稚園修了時の具体的な姿

→具体的な姿を伝えることで、幼児の育ちが理解されやすい

→小学校においては、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすることとされている。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿



「幼稚園教育要領中央説明会」資料

幼保小連携・接続リーフレット

幼保小の円滑な接続をめざして

幼児期は遊びを通して、学びの土台となる力を身に付ける時期です。小学校においては、学びをゼロからスタートするのではなく、幼児期に身に付けた力を生かしながら教科等の学びにつないでいくことが重要です。

鳥取県幼児教育センターでは、幼保小連携・接続に係る取組として、以下のような相談・支援を行っています。

幼保小連携・接続への支援

- **小1プロブレム発生防止、対応に係る取組への指導助言**
 - ・接続カリキュラム（アプローチ・スタート）の編成・改善について
 - ・小学校教員の保育体験や保育者の小学校での授業体験後の効果的な研修の進め方について
- **管理職による幼保小連絡協議会**
 - ・めざす子ども像の共有について
 - ・育ちと学びをつなぐための幼保小の取組について
- **幼児と児童の交流活動**
 - ・互恵性のある交流とするために
 - ・交流計画の作成・改善について
- **幼保小合同研修会等**
 - ・研修会講師

子どもの育ちと学びをつなぐために **3つの「つなぐ」**

「組織」・「人」をつなぎ、そして、接続カリキュラムの編成・実践など「教育」そのものをつなぐ取組が求められています。

組織をつなぐ

園・小学校・市町村等が
つながる

人をつなぐ

園児・児童・教職員・
市町村担当者等がつながる

教育をつなぐ

教育課程・教育内容が
つながる

鳥取県幼児教育センター
平成31年 3月

鳥取県幼保小連携ハンドブック
(平成30年3月)

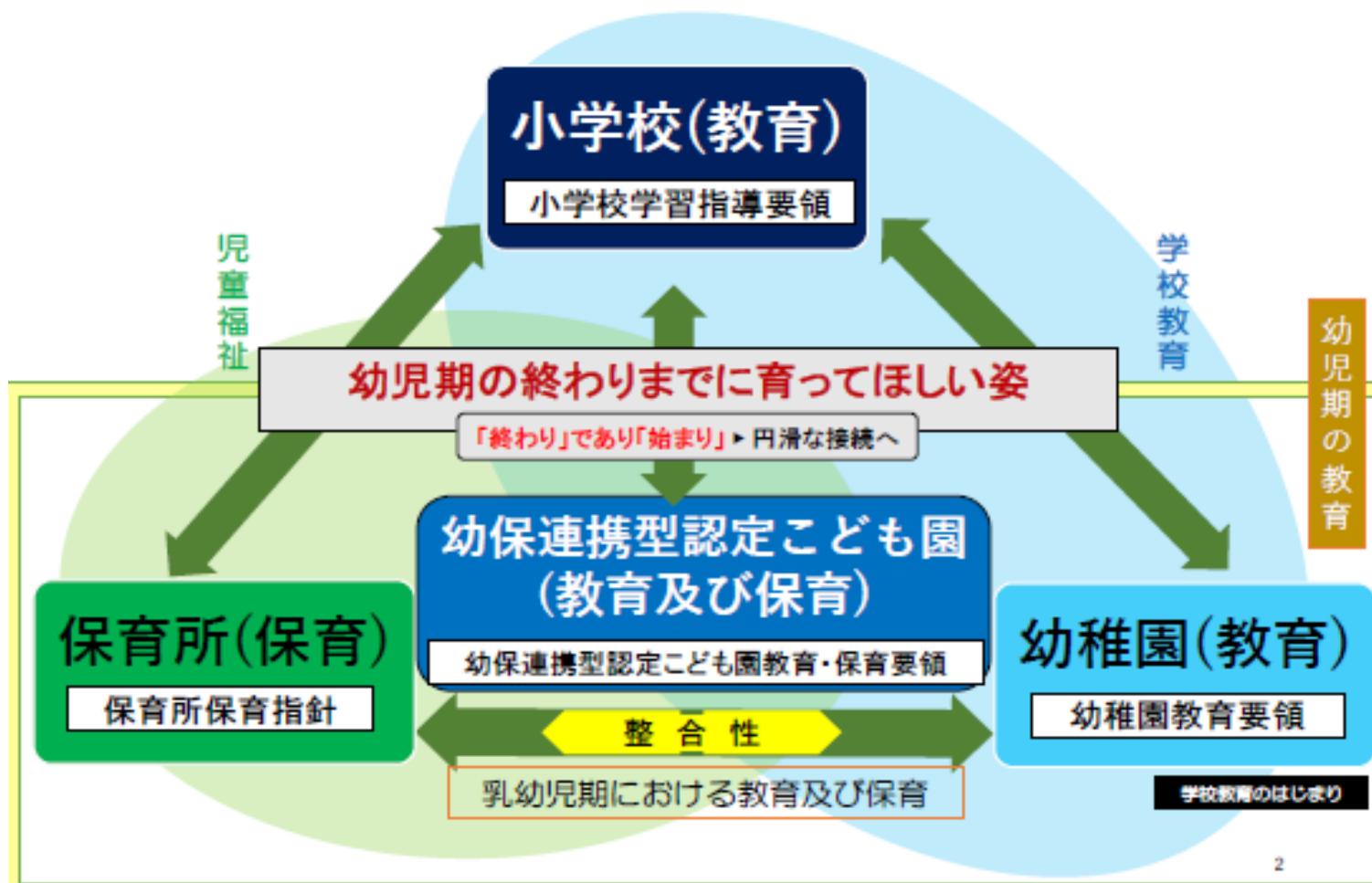
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、幼児期の教育を通して**資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿。**

【留意点】

- ・ 方向性の目標であり、到達すべき目標ではない。
- ・ 遊びの中で総合的に育まれるものであり、個別に取り出されて指導されるものではない。
- ・ 0歳からの指導の積み重ねで見られるようになるものであり、5歳の後半に突然見られるようになるものではない。
- ・ 全ての子どもに同じように見られるものではない。

5歳児後半の姿であると同時に**小学校の始まりの姿**でもあります。この姿を幼保小が子どもの**育ちを捉える手掛かり**として共有していくことが重要です。

幼稚園教育・保育所保育・幼保連携型認定こども園における教育と保育の整合性、
 小学校教育との円滑な接続に向けて（イメージ図）



円滑な連携・接続のためのポイント

園

幼児期の教育における成果
を小学校へ確実に**つなぐこと**

幼児期の終わりまで
に育ってほしい姿

スタートカリキュラム
の実施

小学校

園での体験や学びを、小学
校での学びに**生かすこと**

園

小学校

互いの教育内容を**改善・充実**させ
る取組へと進展していくこと

「鳥取県幼保小接続ハンドブック」(P4)

円滑な連携・接続のためのポイント「3つのつなぐ」

子どもの育ちと学びをつなぐために

組織を つなぐ

- ・管理職同士のつながり（連絡協議会等）
- ・連携推進担当者同士のつながり
- ・年間連携（交流）計画を作成
- ・就学前後の引継ぎ・連絡会の実施
- ・園、学校、学級だより等の送付、掲示等
- ・幼保小の相互理解に向けた参観・研修等の実施

連携

人を つなぐ

- ・園児と児童、園児同士の交流
ねらいを明確にした交流
- ・教職員の相互理解
保育参観・授業参観
合同研修会
保育体験・授業体験

教育を つなぐ

- ・めざす子どもの姿の共通理解
- ・互いの教育内容・保育内容を理解
- ・つきたい力等を協議し、共通実践
- ・カリキュラムの編成・実践・評価・改善

接続

連携から接続へ

連携とは

* 組織(園、小学校、市町村等)が
つながることを通して、人(園児・児
童・教職員・市町村担当者等)がつ
ながること

《具体的な取組例》

- ・園児と児童の交流活動
- ・教職員の研修会 等



接続とは

* 教育課程・教育がつながること
《具体的な取組例》

- ・接続カリキュラムの編成・実施
- ・連携したことをもとに自園・自校の
教育の改善・充実
- ・接続カリキュラムと教育課程とのつ
ながりの確保 等

「鳥取県幼保小接続ハンドブック」(P3)

2. 東部地区の幼保小接続の状況と取組事例

- － 合同研修会・保育体験実施状況
- － 管理職の連絡協議会実施状況
- － 生活科における幼保連携単元の有無
- － アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについて

東部地区の幼保小接続の状況について

合同研修会・保育体験

どの項目もコロナ禍のため下がっているが、吹き出しに記載していることが大切である。

相互理解の機会の確保が必要

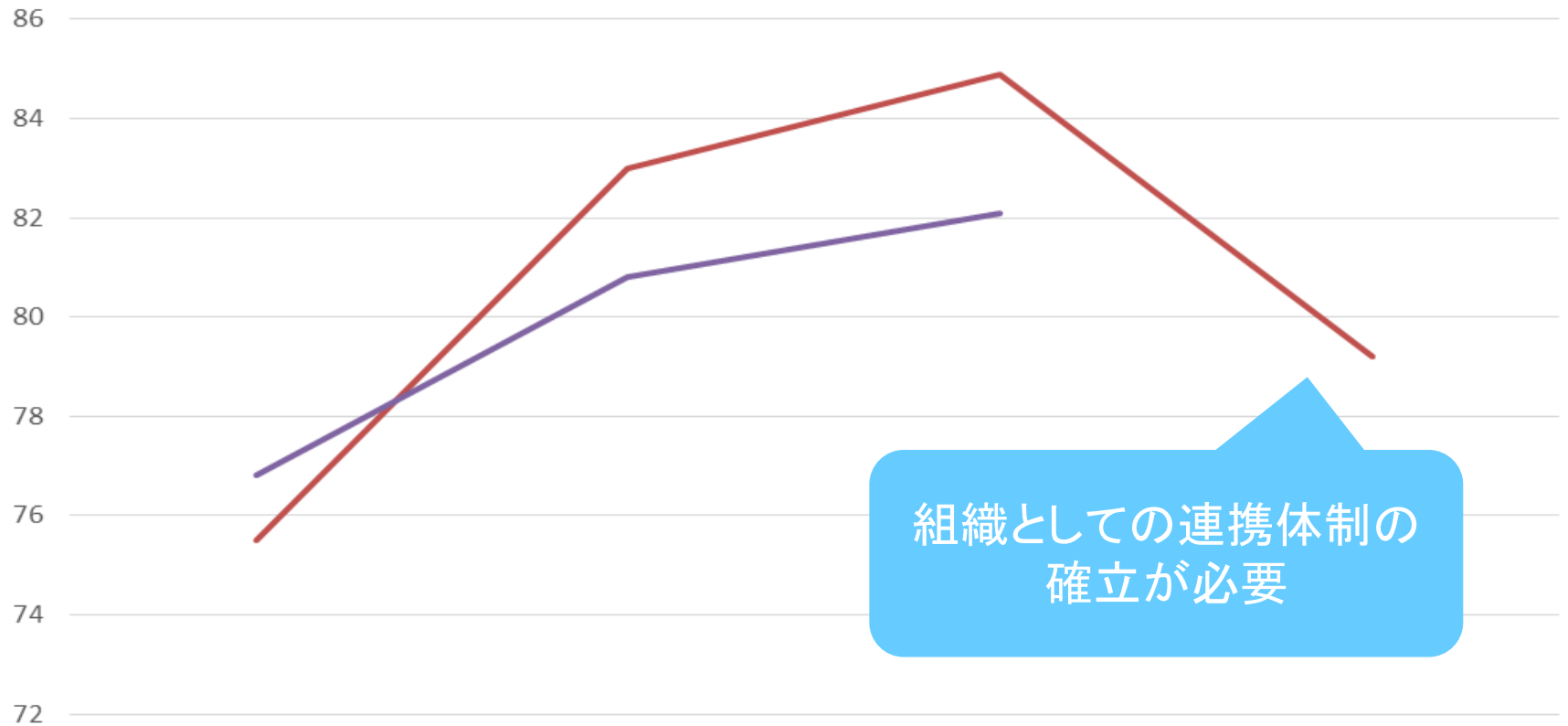
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
東部	79.2	71.7	64.2	39.6
全県	84.8	81.6	78	

東部 全県

学校教育実施状況調査

東部地区の幼保小接続の状況について

管理職等の連絡協議会



組織としての連携体制の
確立が必要

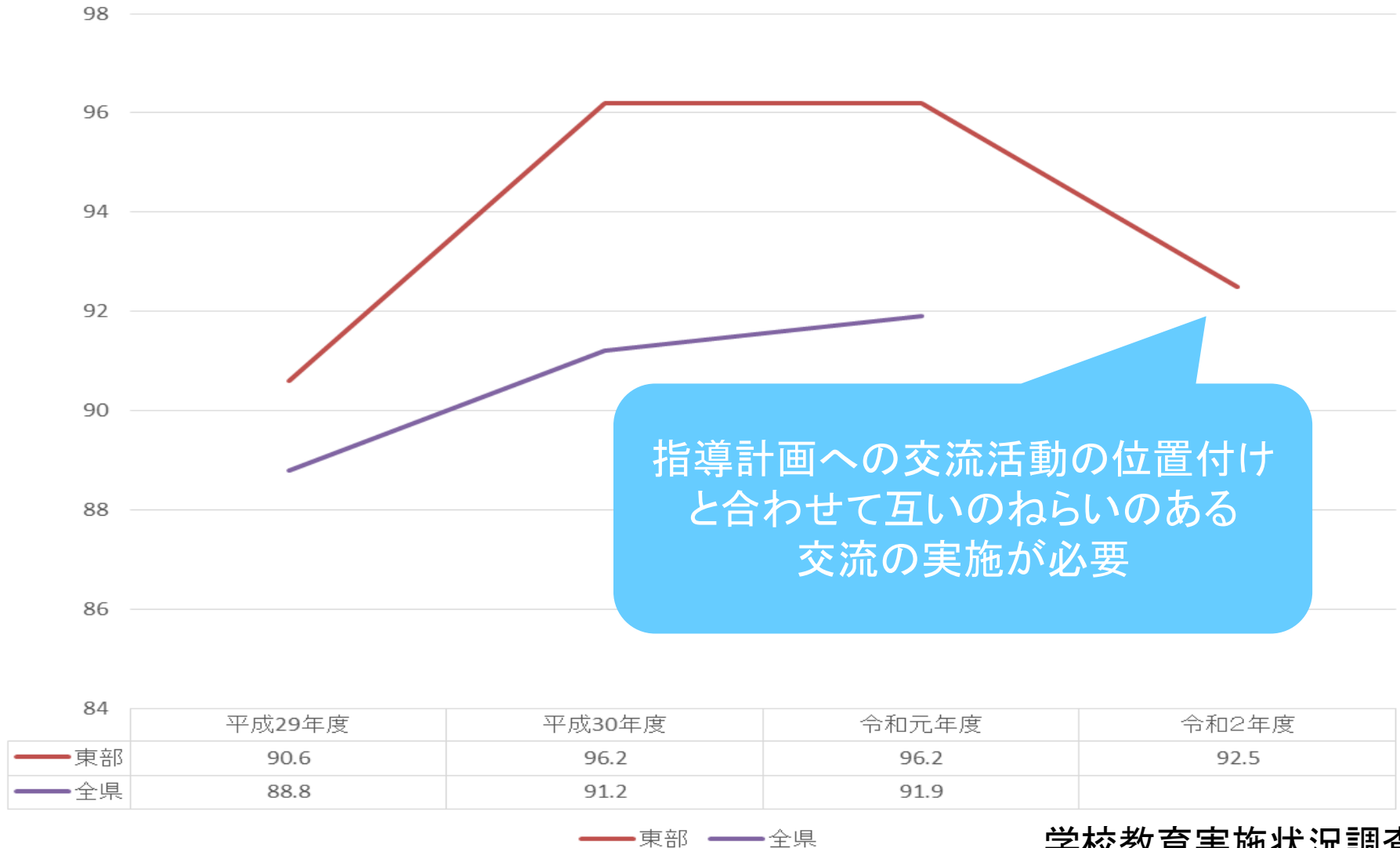
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
東部	75.5	83	84.9	79.2
全県	76.8	80.8	82.1	

— 東部 — 全県

学校教育実施状況調査

東部地区の幼保小接続の状況について

生活科における幼保連携単元の有無



アプローチカリキュラム編成のポイント

- ☐ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに編成
- ☐ 小学校に期待をもち、自信をもつことにつながる遊び・体験
- ☐ 小学生との交流活動などを考慮
- ☐ より自主的・主体的な遊びを意識
- ☐ 意図的に組み入れた協同的な遊び・体験
- ☐ 文字や数等に興味・関心をもつ環境の構成
- ☐ 校区のめざす子どもの姿の位置付け・小学校とのつながり
- ☐ 5歳児の年間指導計画とのつながり
- ☐ 地域・園・小学校の特色を生かした活動
- ☐ 保護者への説明

スタートカリキュラム編成のポイント

- ☐ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をふまえた指導の工夫
- ☐ 生活科を中心とした合科的・関連的な指導
- ☐ 短時間学習などを含めた時間割の工夫
- ☐ 園で経験した遊び・体験活動を活用
- ☐ 園での環境構成（視覚支援等）を活用した学びやすい環境作り
- ☐ 教職員や友達と関わる活動、出会いの楽しさを感じる活動の工夫
- ☐ 校区のめざす子どもの姿の位置付け・園とのつながり
- ☐ 1年生の年間指導計画とのつながり
- ☐ 地域・園・小学校の特色を生かした活動
- ☐ 保護者への説明

スタートカリキュラムのイメージ

小学校
中学年

小学校
低学年

教科等の特質に応じた
「見方・考え方」や
資質・能力を育むとともに、
教科横断的にそれらを
総合・統合していく学び

国語
算数

社会

社会的事象の
見方・考え方

位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して社会的事象を見出し、比較・分類したり総合したり、国民の生活と関連付けること

総合的な学習の時間

探究的な見方・考え方(案)

各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会や実生活の文脈や自己の生き方と関連付けること

理科

理科の見方・考え方

身近な自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなど、問題解決の方法を用いて考えること

音楽
図画工作
体育
道徳
特別活動

生活科

＜身近な生活に関わる見方・考え方(案)＞

身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、比較、分類、関連づけ、試行、予測、工夫することなどを通して、自分自身や自分の生活について考えること

具体的な活動や体験を通して、**身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を、次のように育成することを目指す**

- 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わりに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする
- 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え表現する力を育成する
- 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を育てる

「スタートカリキュラム」を通じて、各教科等の特質に応じた学びにつなぐ

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量・図形・文字等への関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

※各教科等の「見方・考え方」を踏まえて、関係性を示したものである。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の項目の濃淡は、小学校教育との関連が分かるように示したものであり、基本的にはすべての教科に関わっているが、濃い部分は特に意識的につながりを考えていくことが求められるもの。幼児教育において小学校教育を前倒しで行うことを意図したものではない。

接続

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手がかりとしながら、幼児の得意なところや更に伸ばしたいところを見極め、それらに応じた関わりをしたり、より自立的・協同的な活動を促したりするなど、意図的・計画的な環境の構成に基づいた総合的な指導の中で、バランスよく「見方・考え方」や資質・能力を育む時期

幼児
教育

遊びや生活の中で、
幼児期の特性に応じた
「見方・考え方」や
資質・能力を育む学び

幼児期に遊びを通して身に付けた力は、小学校以降の創造的な思考や主体的な生活等の基礎となっています。

(例)「対話的な学び」のつながり

幼児期において「対話的な学び」は友達や保育者、地域の方との関わりを深める中で、自分の思いや考えを伝え合い、自らの考えを広げ深めることで実現します。



友達や先生の話に関心をもって聞こうとする。

考えたことを自分なりに表現しようとする。

必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉えて自分の考えをもつ。

相手や目的に応じて適切な表現方法を選んで表現する。

論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。

表現手段の特徴を理解し、相手や目的、意図に応じて効果を考えながら工夫して表現する。

【鳥取市の実践】
 接続ハンドブックP15

＜目指す子どもの姿＞ 人やもの、こととの豊かな体験を通して①相手の思いを聞いたり自分の思いを言葉で伝えようとする。

②心と体を働かせ続けずに、やり遂げることの充実感を味わう。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
アプローチカリキュラム											
保	行事 地域交流	入園式 保育参観	じやいめい展り (ふれまふ・11)	まきまつくり (ふれまふ・5)	ツル展覧 七夕の集い	お祭り (5月参観) 川遊び	地区運動会 (浜村・浦原) 保育園運動会 さつま芋展り (ふれまふ・4・5)	人権文化 (4歳作品展示) バス遠足 老人クラブ運動会 (4歳参観) さつま芋クッキング (ふれまふ・5)	環境文化 (4歳作品展示) 秋の地域文化 秋の地域文化 (作品展示) 発表会	球技大会 (公) 秋の地域文化 秋の地域文化 (作品展示) 発表会	
		目標	テーマ【自分が好き・友だちが好き・浜村(遠征)が好き 元氣いっぱい情緒の子】 ●基本的な生活習慣の自立(自分の事は自分でしよう) ●生活リズムを整える(早寝・早起き・朝ごはん) ●自分の休や心を大切にすることを育む								
育	健康 と 安全	●食事のマナーに気を付け楽しく食事をすること	●栽培物を収穫したり調理したりして食べる喜びを味わう ●季節ならではのさまざまな遊びを通しておいいきり活動する楽しさを味わう								
		●戸外で遠んで体を動かして遊ぶことを楽しむ	●食材や食事を用意して持てる人へ ●自分の目の当てで持てる人へなど 使って多様な活動遊びを楽しむ								
人 間 関 係	人間関係	●集団生活の決まりの大切さに気づくこと ●自分の姿勢を相手に分かるように言葉で伝える ●友達と簡単なルールの確認や伝え合いを行ふルールを定めて遊びを進めようとする	●自分のことを認めてもらう経験を通して自信を持つて行動する ●意見や感情の行き違ひの中で、相手の気持ちや考えを分かちあうこと								
		●話し合いのルールを実践し習慣化する ①ストップする②話す時は手を挙げる③話している人の目を見る④聞くときは口を閉じる⑤耳でしっかり聞く ●自分の思いが通っていること等を言葉で伝える	●注意集中の基本●注意集中への妨害に対する対応 ●何に注目すれば良いか理解し、行動し注意集中への妨害に対して適切に対応する ●いろいろな感情があることに気づく								
情 感 の こ ろ こ ろ	情緒的 な こ ろ こ ろ	●話し合いのルールを実践し習慣化する ①ストップする②話す時は手を挙げる③話している人の目を見る④聞くときは口を閉じる⑤耳でしっかり聞く ●自分の思いが通っていること等を言葉で伝える	●注意の切り替え ●指示や変化に慣れて、すばやく注 ●話し合う中で友達の思いに気づく								
		●身近に起こっているさまざまな出来事に心をもち疑問に思ったことに答へたりし見たりする ●絵本や物語に楽しめ興味を持って聞きイメージを豊かにして表現することを楽しむ	●身近にある色々な素材の使い方を知人数を数えたり量測したりに思いを付たりする ●さまざまな環境に触れながら、豊かな感性を持つ自分自身に表現することを楽しむ								
身 体 の 活 動	身体 の 活 動	●身近に起こっているさまざまな出来事に心をもち疑問に思ったことに答へたりし見たりする ●絵本や物語に楽しめ興味を持って聞きイメージを豊かにして表現することを楽しむ	●身近にある色々な素材の使い方を知人数を数えたり量測したりに思いを付たりする ●さまざまな環境に触れながら、豊かな感性を持つ自分自身に表現することを楽しむ								
		●身近に起こっているさまざまな出来事に心をもち疑問に思ったことに答へたりし見たりする ●絵本や物語に楽しめ興味を持って聞きイメージを豊かにして表現することを楽しむ	●身近にある色々な素材の使い方を知人数を数えたり量測したりに思いを付たりする ●さまざまな環境に触れながら、豊かな感性を持つ自分自身に表現することを楽しむ								

丈夫な身体づくり
体操・縄跳び・走り遊び、後ろ跳び、あやとり・ボール遊び(投く、けのび、バク足)
跳び箱・マット運動(前転)・ボール遊び・タイヤとび・リズム遊び・散歩・体力測定(年2回)
鉄棒(前回り、逆上がり)・プランコ(立ちこぎ)走る(かけっこ、リレー)

活動内容	●自然との関わり・生命尊重 三食米食当番(毎日・夏野菜の栽培) 結実の下ごしらえ(拭き、空室、土もろじ) 戸外遊び・虫さがし、雪遊び・水遊び・足遊び	●豊かな感性と表現 歌うたう 庭遊(ハモニイ演奏・竹太鼓) マーチングの楽器(大太鼓、小太鼓、キーボード、シンバル) 描画(自由画、観察画、生活画、色遊び) 製作活動
	●生活習慣の確立 生活習慣の確立(生活習慣の確立)	●表現力の向上 表現力の向上(表現力の向上)

保小	保育園	ふれまふさんとの交流 じやがい組・さつまつ準備・七夕(ちまき作り) お茶会・なまつり・じゃがいも植え 祖父母交流(地区敬老会参加・高齢者運動会参加)	散歩・こどもの日の募い・リズム遊び・さすの遠足・当番活動(布巾敷き) 七夕集会 水遊び・運動会・バス遠足・さつまつ準備・仲良しタイム お正月遊び・給食交流・餅分集会・お店屋さんごっこ・お祭り会 お別れ給食・お別れ遠足・じゃがいも植え・当番活動引継ぎ	集団遊び(ル 陸を歩くとき 株を育てる・昔 1日の生活のさ	
		・入園式 ・保育参観(随時) ・園便り(毎月)	・運動会 ・生活発表会 ・就学時健康診断		
第1回家小連絡協議会 (カリキュラム確認入学者の様子等情報交換) (カリキュラム振り返り・見直し・卒園児について情報交換) 開会・終会					
		・地区運動会参加			

【接続カリキュラムの特徴】

- 重点を置く「人間関係」をねらいとした活動には、保小で共通して桃色で示しています。
- スタートカリキュラムは、生活科を中心に各教科を合科的・関連的に組み合わせて編成しています。幼児期の体験や生活の流れを重視しながら、温かい雰囲気の中で安心して自分の思いを伝え合える活動を進めています。また、教師の意識付けを図るため、幼児期の学びを生かす支援を黄色で示しています。

浜村小：生活科を中心としたスタートカリキュラム全

浜村小・浜村保育園の目指す子どもの姿：「人やもの、
く関連事項」◎本字(色文字)：目指す子どもの姿と関連事項

4月 第1・2週 第2・3週

1年生のスタートだ！

どもだち たくさん つくろう(1)

どもだち たくさん つくろう(2)

わたしの がっこう どんどこ

スタートカリキュラム全体計画

【わらい】
・新しい学級や先生、友達と知り、学校に対して安心感をもつことができる。

- ・生活のリズムをつかみ、自分のことは自分ですることができる。

【わらい】
新しいクラスの中で、少しずつ自分らしく行動できるようにする。
同じ学年の友だち、上級生、先生へとかかわりを広げ、学校生活を楽しく過ごすことが
やってみたい、知りたいという興味・関心を大切に、学習への意欲や主体性がもてる

がっこうと なかよく はろう

生活

- ランドセル中身の出し方・しまい方を知る。
(荷の引き出しやロッカーの使い方)
- 下駄用の使い方、傘立ての使い方を知る。
- トイレ・水道の場所や使い方を確認する。
- 廊下の歩き方を確認する。

○給食の準備・食べ方・残片付けの仕方が分かる。

○校歌を知る。

○出席番号順や下校グループの並び方を知る。

○休校中の過ごし方、本校の行事や行事予定を確認する。

ともだちとほかよくはろう！

生活

○「てとてであくしゅ」の音楽に合わせて、名刺交換をして、自分のことを友だちに知らせる。

音楽「うたでなかよしになろう」

○校内の見取り図や探検マップを見て、行ってみよう場所を考える。グループごとに探検に出かける。

○名前や好きなものを入れて、自分の名刺を作る。

国「きょうのなごみのくに」

肝臓に 高い ☐ 関係

③ あいさつの仕方を変える。
④ 名前を呼ばれたら、元気に「はい!」と返事を
する。
○ 姿勢「ベタ・ピン・トン」を確認する。
○ 姿勢・鉛筆の持ち方に気を付けて、はじめて
の名前を書く。
「STARTプログラム」

○友だちと歌ったり、手遊びをし

○タンバリンの音の数だけ、友だちと驚きる。
○友だちと体を動かして楽しむ。

【指導上の留意点】

- 初めのうちは習慣や小まなびと身につけなければならない生活習慣や生活態度のきまりの必要に、主体的に取り組めるよう支援する。
 - 提示カードやペーパーなどを用いて、分りやすく
- 掃除や給食、朝の会、生活活動などは教育課程で扱っているもので、推進しなす。
- 習字や食育学校の活動員や保護者とボランティアにも協力してもらいながら、一人ひとりと密な関係を保ち続けようという思いを貫き続けながら、支援する。
- 子どもたちは、入学への期待とともに不安も抱えているので、幼稚園、保育園からの引継ぎも大切。いっしょに、生活全体で体験していく。その

【指導上の留意点】

- ◆学習内容の他に、学校生活のまわりについては、具体的な場面で繰り返し指導する。
- ◆技能指導の場面で不安定なことを意識が受け止め、安心して表現できる雰囲気作りを心がける。
- ◆音楽科の特性を生かしながら、みんなで歌ったリコーダなどを用いて、友達とかわるえ体験的な活動をもっとよく行なう。
- ◆学年で学習する体育を中心に、他のクラスの友達とつながる場を意識して設定する。
- ◆行ったことと話を聞いて知らせるなどして、自

週案

[illegible]

令和2年度幼保小連携接続推進事業(東部地区)

<事業実施校・園>

鳥取市立面影小学校

鳥取市立白ゆり保育園

認定こども園 さくら幼稚園・さくら保育園

<事業内容>

(1) 幼保小連携体制の整備

○園、小学校の相互理解の充実

・子ども同士の交流活動

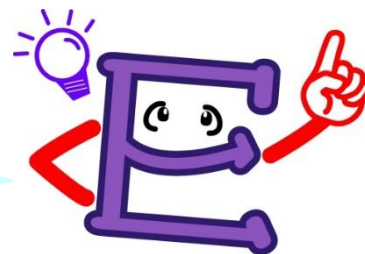
・幼保小合同研修会の開催

○桜ヶ丘中学校区「めざす子ども像」にむけて

(2) 接続カリキュラムの編成・改善

(3) 各園・学校における教育・保育の充実

各園・校の実践・取組については、
それぞれのスライドを御覧ください。



幼保小接続アドバイザーを 派遣します



～幼保小の円滑な接続に向けた取組を応援～

【派遣内容】幼保小連携・接続に関する研修



○市町村及び市町村教育委員会が開催する研修会

○小学校区における研修会等

- ・管理職による幼保小連絡協議会
- ・幼児と児童の交流会や交流後の職員研修会
- ・合同職員研修会、接続カリキュラム編成のための研修・会議
- ・保護者対象研修会

○小学校または園における職員研修会、保護者研修会 等

一緒に考えてみませんか？

- ・子どもの育ちや学びがにつながる接続カリキュラム、スタートカリキュラムやアプローチカリキュラムって、どのように編成するの？
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導の工夫とは、具体的にどんなことが考えられるの？
- ・園と小学校の合同職員研修会では、どのような協議をすると効果的なの？
- ・スタートカリキュラムは編成しているけれど、地域や学校の実態に合っているかどうか見直したいな。



【申込方法】

- ① 各教育局・小中学校課（幼児教育センター）ホームページより、依頼文の様式をダウンロード
- ② 必要事項を記入し、所管教育局へ提出

- 事前に教育局へ連絡をください。
（日程調整・研修内容の打合せのため）
- 謝金・旅費は不要です。